

経営比較分析表（平成28年度決算）

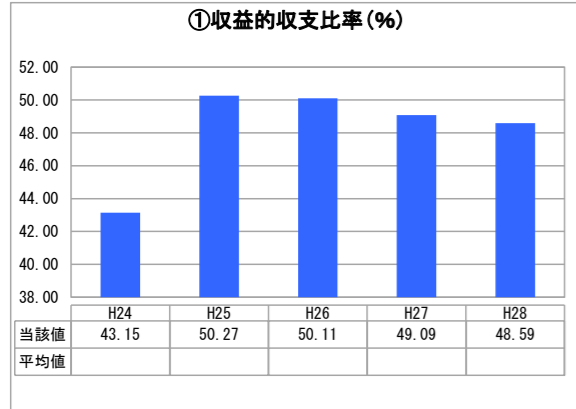
山形県 戸沢村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.40	95.00	3,040

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,846	261.31	18.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
591	0.45	1,313.33

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



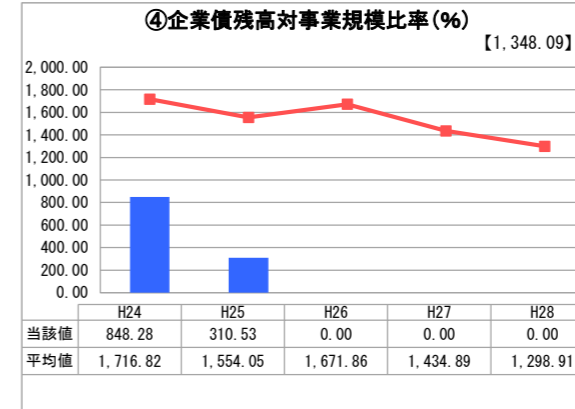
「単年度の収支」



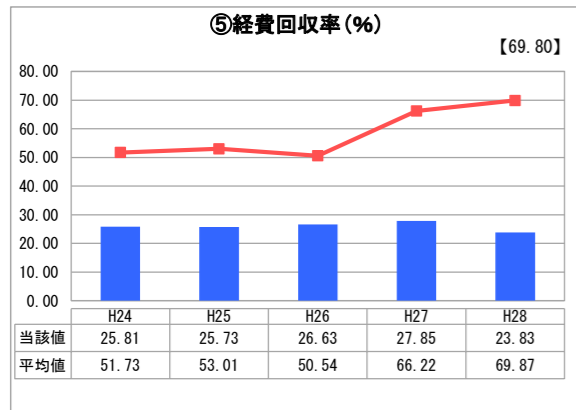
「累積欠損」



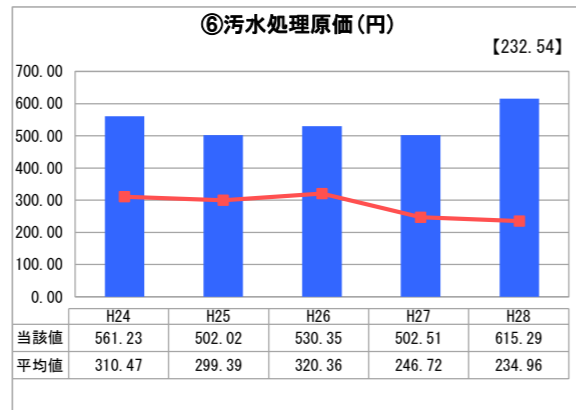
「支払能力」



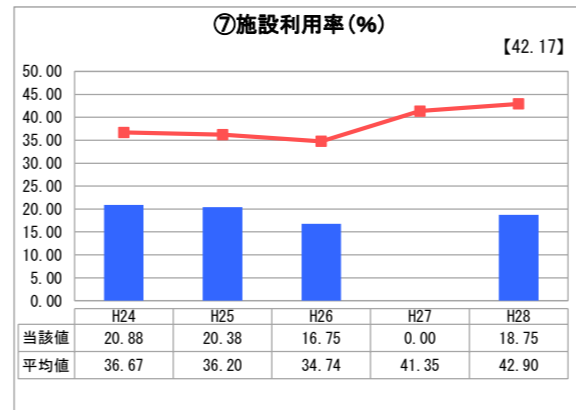
「債務残高」



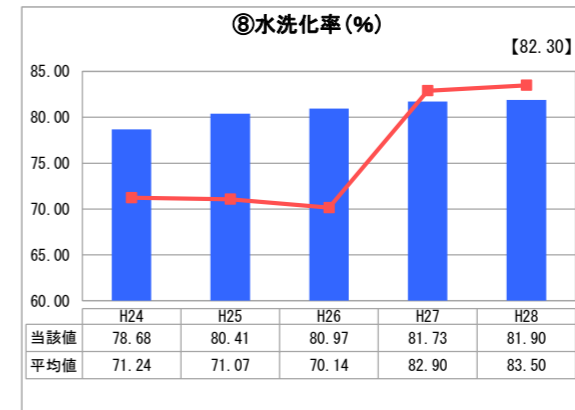
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

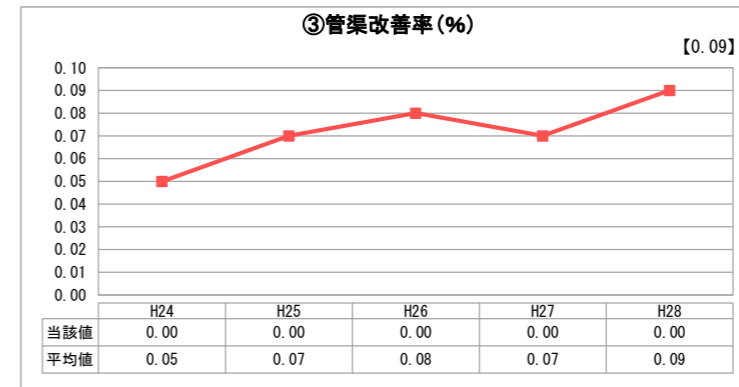
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率について
料金の算定については、通減型料金方式を採っており使用量の増加につれ従量料金が低額となります。接続人口が少ないことから、料金収入では維持管理費用を賅っておりません。(H28実績で使用料収入が歳入に占める割合は約9%程度)
- ・企業債残高対事業規模比率については事業については概成しており、新たな企業債の発行はありません。
- ・経費回収率、汚水処理原価、施設利用率について、接続人口については、前年506人から484人に減少し利用率も低位で推移しています。維持管理経費については、積極的に修繕費を投入し機材の保全に努めた結果汚水原価の上昇に起因したようです。経費回収率についても、数値の通りこれまでの要因等により低位に留まっております。
- ・水洗化率については、81.9%と好調ではありますが、高齢者のみ世帯の増加する中、新たな接続を期待できる状況にはありません。

2. 老朽化の状況について

- ・現状耐用年数を経過した管渠については、該当するものはありませんが、今後の課題として管渠の老朽化対策が必要になってきますので、ストックマネジメント計画については、山形県県土整備部下水道課のご指導を賜りH29年3月に策定し、その計画期間はH35年度までとしております。また、場合によっては機能診断等も検討・実施しながら対応したいと考えております。

全体総括

従前から続く人口減少に加え、施設利用率は依然低く、使用料金のみで維持管理経費を賅うには至っておりません。一般会計からの繰入れを仰ぎ(歳入に占める繰入れの割合71.5%)それによって経営を維持しています。また企業債の償還財源として、資本費平準化債の借入(歳入に占める平準化債の割合は15.5%)を行っています。予想される今後の老朽化対策の一つとして以前より新規加入者の新設手数料等を積立、僅かながらも将来の負担に備えています。そのほか処理施設の日常維持管理については最上圏域7市町村で組織する共同管理組合に委ねております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。